



## 一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

### 各地区安管協会の活動紹介

#### 「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年10月中）

磐田地区、伊東地区、三島地区の各安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この10月中に、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

#### 【磐田地区】

10月20日（木）、磐田警察署の呼び掛けで、磐田市役所、地域交通推進委員、地元自治会、交通安全協会磐田地区支部等の交通関係団体とともに、磐田地区安全運転管理協会から事務局長が参加、合計19人により

10月13日（木）夜間、磐田市福田地先の市道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の44歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、直線道路が交差する信号交差点で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 現場周辺における街路灯の設置要望、横断歩道表示の引き直し要望
- 事故発生を注意喚起する看板の設置要望、関係団体による広報啓発の実施など、活発な意見が出されました。



上2枚【事故現場・現場診断の状況】



下1枚【事故防止対策協議の状況】

## 【伊東地区】

10月21日(金)、伊東警察署の呼び掛けで、伊東市役所、熱海土木事務所、伊東市交通安全父母の会、地元自治会、交通安全協会伊東地区支部等関係団体とともに、伊東地区安全運転管理協会から市川会長及び事務局長が参加、合計14人により、10月3日(月)の早朝、伊東市吉田地先の国道135号で発生した交通死亡事故(原付バイクと道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の86歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は片側1車線の直線道路で、原付バイクの進行方向からは下り勾配となっており、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

○ 車両対策として、道路形状から速度が出やすい傾向にあるため、減速を促す注意看板等の設置を検討

○ 歩行者対策として、高齢者に対する交通安全教室を開催するなど「しずおか安全横断3つの柱」の浸透を図る交通安全指導を推進

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故状況の説明】



【事故現場診断の状況】



【事故現場診断の状況】



【事故防止検討会の状況】



## 【三島地区】

10月25日(火)、三島警察署の呼び掛けで、三島市役所、沼津土木事務所、三島地区地域交通安全推進委員協議会、交通安全協会三島地区支部等関係団体とともに、三島地区安全運転管理協会から矢岸会長及び事務局長が参加、合計16人により9月11日(日)早朝、三島市大場地先の県道で発生した交通死亡事故(オートバイと道路を歩いていた歩行者との衝突事故、歩行者の80歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、直線道路であるが川沿いの脇道と交差している状況で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 事故発生が早朝の通勤時間帯で交通量も多いため、減速を促す看板や脇道からの飛び出し防止の注意看板設置を検討
- 警察による指導取り締まり強化のほか、関係団体により高齢歩行者に対する交通事故防止の指導啓発活動を推進

など、今後の事故防止対策に関する意見が出されました。



【三島署員による事故状況の説明】



【オートバイ進行方向からの現場状況】



【事故発生現場の状況】



【事故防止対策協議の状況】